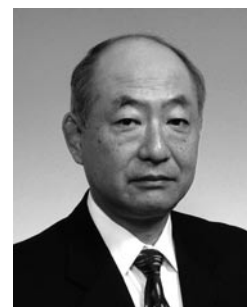


あたりまえの会社を目指して



社長 内海 勝彦

この度、FB テクニカルニュース 2005 年号を刊行するにあたり、平素より弊社の製品を御愛顧戴いているユーザーの皆様、そしてこのテクニカルニュースを通じてバッテリーの技術動向に常に関心をお寄せ戴いている読者の皆様に、この6月から現今井会長より経営をバトンタッチされました新任社長として、御挨拶、並びに所信を述べさせて戴きます。

私は社長就任時の挨拶の中で、経営者の使命は「会社の継続的発展」と「株主、従業員をはじめとするステークホルダーに対する利益の還元」であるという事を申しました。そしてこれらを実現していくためには健全な理念と高邁なビジョンを常に標榜し、その目的に向けて正々堂々と進んでいく事が肝要であり、そのプロセスと結果を内外共にディスクローズしていかなければならないと思っております。

またその一方で「会社の継続的発展」を支え利益を生み出していく源泉はたゆまぬ「技術革新」を進めていく事が重要であると認識しております。従いまして、「経営」と「技術革新」は切っても切れない表裏一体の関係であります。創立 50 有余年の弊社の歴史も常にイノベーションの連続で発展して参りました。この間、蓄積された技術・技能を将来に如何に繋げ、次の時代の研究開発にどう寄与させていくかが、今、重要課題であると思っております。

そこで、弊社がメーカーである以上、技術力・研究開発力を礎に更に発展していくためには次の2つの事柄に留意していきたいと考えております。

まず、1つ目は「人材の育成」であります。正に「企業は人なり」と言いますが、とりわけ「イノベーション」は人智に依るところ大であります。弊社には過去に事業撤退等の構造改革を経て来たため、社員の年齢構成にギャップを生じており、そのために派

遣社員の起用等を余儀なくされ、技術・技能の継承に支障が出る恐れがあります。こうした事態を極力避けるためにも全社員が技術者、研究者の立場で物事を考える習慣をいつもつけていける様な環境作りも必要であると考えております。

2つ目は「競争力のある物作りの技術」であります。競争力には様々な要素がありますが、弊社にとってはまず「品質」を第一に考えております。勿論コストも大切ですが、顧客にとっても今や品質がブランドであり、製品の品質が会社の質を問われる様になりつつあります。安定的な品質維持には顧客、マーケットの情報を常に物作りに反映させる姿勢と仕組みが欠かせません。お客様に満足戴く品質作りには、実際に物作りに携わっている人達の魂が必須です。その中から品質向上への知恵と工夫が湧き起り、更には技術革新に繋がっていく事と確信しております。弊社には規模よりも収益力のある事業を一つでも多く育てていきたいと考えております。小さくても光る事業の実現に向け、愚直に地道に徹底的にイノベーションを進めて参りたいと思っております。

これからも技術革新の努力を通し、1つでも2つでも業界の発展と社会に貢献できる存在感のある会社を目指して参りますので、引き続き御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。